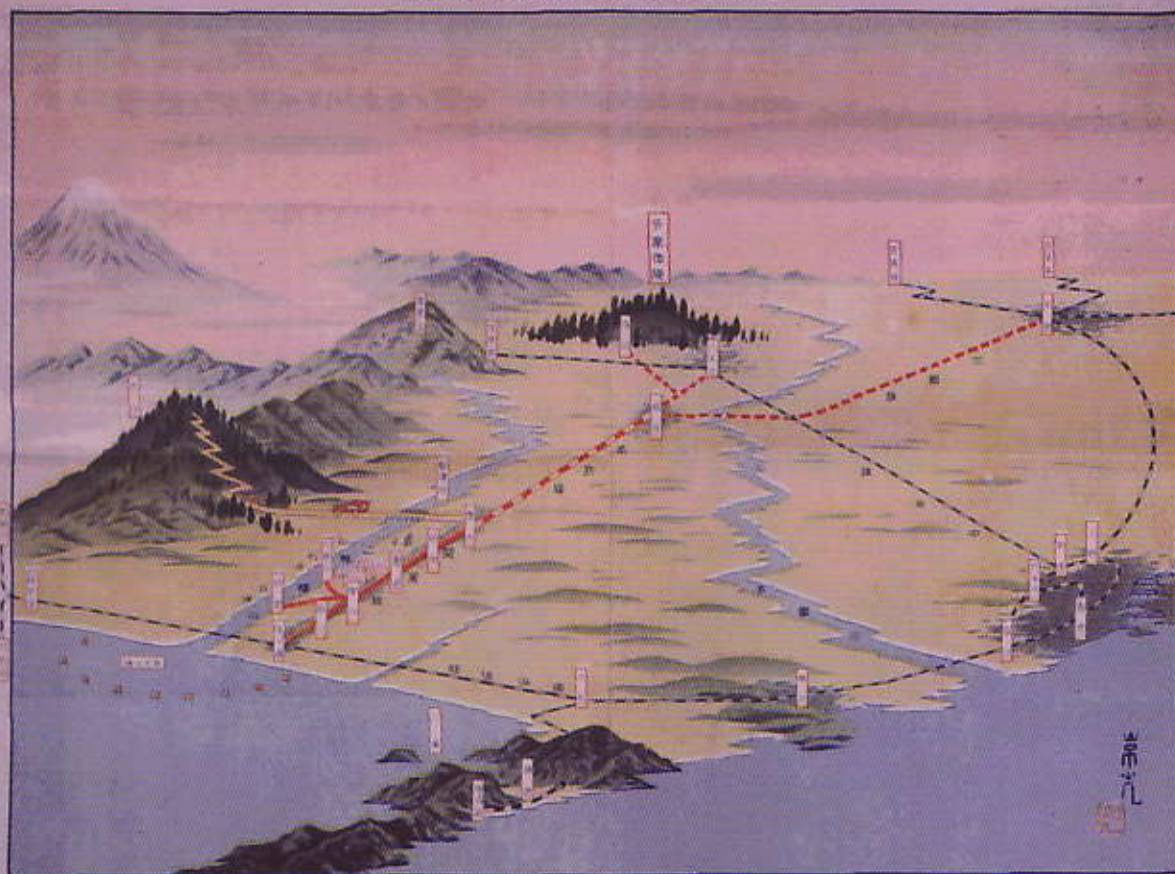


寒川文書館だより

Vol. 3

相模鉄道沿線鳥瞰図



相模鉄道沿線鳥瞰図（当館蔵）

第3号目次

資料紹介	2
100回を迎えた町史編集委員会	3
寒川の先人たち	3
おかげさまで1周年	4
第3回企画展「昭和40年のまち探検」	6
文書館 最近のできごと	7

第3号
2008.3.31
寒川文書館

資料紹介

今回は、表紙に挙げた相模鉄道沿線鳥瞰図と、相模鉄道についてご紹介します。相模鉄道は、貨客の輸送と砂利の採取・販売を目的とした鉄道会社で、大正6年(1917)に設立されました。前年の大正5年に茅ヶ崎～寒川～倉見～厚木間、厚木～橋本間および寒川～四之宮間の鉄道敷設が国の免許を受け、同10年9月に茅ヶ崎～寒川間の本線と、寒川～川寒川間の砂利支線が開業し、翌11年5月には寒川～四之宮間の砂利支線も敷設されました。以後、15年4月に寒川～倉見間、同年7月には倉見～厚木間まで延び、昭和6年(1931)4月に橋本までの全線が開通しました。



厚木駅へ延長時の記念乗車券（大正15年、当館蔵）



まさにそうしたブームによって描かれたものだったのです。

この図には制作年代が明記されていません。しかし、図をよくみると茅ヶ崎～厚木間が既に開業している一方で、厚木から先は「免許線」と記され未だ開通していないことから、大正15年7月以降に描かれたことがわかります。さらに、裏面の「相模鉄道株式会社プレミアム附第貳新株式募集」広告をみると、株式申込期間が昭和2年3月10日から15日までと記載されており、これらの点からおそらく昭和2年の早い時期に発行されたのではないかと推定できます。なお常光は、このほかに、全線開通後の相模鉄道沿線案内なども描いています（『寒川町史 15 別編 図録さむかわ』98～99頁に掲載）。



相模鉄道沿線鳥瞰図の裏面

当該期は、ちょうど日本中で観光ブームが沸き起こった時期と合致します。大正から昭和初期にかけて、鳥の目と広角レンズをミックスしたような視覚を用いて観光地や眺望を捉えた、大胆な構図で色鮮やかな鳥瞰図が数多く制作されました。これらの絵には、鉄道路線や船路など交通機関が強調して描かれているのも特徴です。右下に署名のある作者の金子常光は、当時鳥瞰図絵師として大変有名であった吉田初三郎の弟子でしたが、大正11年に初三郎の経営する大正名所図絵社から独立して日本名所図絵社を設立し、生涯で1500点余の作品を残しました。この相模鉄道沿線鳥瞰図も、

その後相模鉄道は、昭和18年(1943)に横浜～厚木間で運行していた神中鉄道と合併しました。社名は相模鉄道のまま存続し、旧相模鉄道の区間は相模線または茅ヶ崎線、旧神中鉄道の区間は神中線もしくは横浜線と呼ばれましたが、昭和19年(1944)6月に首都圏の戦時輸送体制強化のため相模線が国有化され、その結果神中線のみが相模鉄道として存続することになりました。現在の相模鉄道は、横浜～海老名間と二俣川～湘南台間で運行しています。

（涌井有希子）

100回を迎えた町史編集委員会

平成20年1月30日、寒川総合図書館1階企画展示室で、寒川町史編集委員会が開催されました。昭和61年(1986)4月に第1回会議を開いて以来、ちょうど100回目を数えることになりました。

町史編集委員会は、寒川町の歴史についての本をまとめるため、調査・編集・執筆を行う専門家の集まりです。昭和61年4月、学習院大学名誉教授・児玉幸多氏(平成19年7月逝去)以下、9名の委員でスタートしました。

年に数回の会合を開き、どのような調査をするか、どのような本を作るかを話し合ってきました。その成果は、『寒川町史』本編全16巻をはじめ、『町史研究』、『調査報告書』、『資料所在目録』、『新聞記事目録』などの刊行物にまとめられています。

本編の刊行終了後も、本編に盛り込めなかった歴史的事実や研究成果を皆さんに伝えるため、町史刊行物の発行を続けており、現在は5名の委員が活躍しています。



第100回編集委員会

町史編集委員

氏名	担当分野	所属等
圭室 文雄	宗教	明治大学名誉教授
木村 勇	考古	日本大学考古学会幹事
鳥養 直樹	古代・中世	文教大学講師
大口勇次郎	近世	お茶の水女子大学名誉教授
内海 孝	近・現代	東京外国語大学教授

シリーズ 寒川の先人たち

第2回：郷土史研究のさきがけ ―加藤丘之助―

寒川の郷土史研究に功績を残した人です。明治29年(1896)、御所見村瀬郷(藤沢市)に誕生。師範学校卒業後、愛甲郡や寒川などで小学校の教鞭をとりました。昭和21年(1946)から24年には寒川町国民学校(現在の寒川小学校)の校長をつとめています。退職後は初代の寒川町立公民館長となり、在職中の昭和26年(1951)11月に没しました。

教員の傍ら郷土史研究に努め、大正11年(1922)に一之宮で設立された郷土史研究会「相武史談会」の発足に参加しました。公民館長時代には『史話さむかわ』を著しています。これは町制施行10周年記念事業の一環として刊行されたもので、街道・神社・梶原氏など寒川の歴史の様々な事項を私見を交えつつ叙述しており、今日では郷土資料として高い評価を得ています。



加藤丘之助(1896～1951)

おかげさまで1周年!

平成19年11月、寒川総合図書館と寒川文書館は、開館1周年を迎えることができました。そこで、利用者の皆さんに感謝の意を込めて、両館合同で1周年記念イベントを開催しました。

ここでは、文書館の企画として行われた講演会、特別展、上映会をご紹介します。

11月4日(日) 講演会「武田信玄と筋兜鉢」

講師 八幡義信氏



「鉄錆地六十二間筋兜鉢」は、武田信玄が永禄12年(1569)10月の小田原攻めにあたって寒川神社に奉納したと伝えられるもので、寒川神社が所蔵、県指定重要文化財になっています。

当日は寒川神社から兜のレプリカを借用し、参加者にご覧いただくことができました。

講演では、たくさんのスライドを上映しながら、日本の鎧兜の歴史のなかにおけるこの兜の位置づけについて説明がなされ、40名近い参加者は熱心に聞き入っていました。

講師の八幡氏は、『寒川町史』美術工芸編の編集協力員として、寺院の什物や神社の工芸品などを調査していただきました。筋兜鉢についても、町史本編のほかに『寒川町史研究』第2号に綿密に調査した結果を執筆しています。



一周年記念事業一覧

日 程	事 業 名	主 催	会 場
10月27日～11月25日	特別展「図書館・文書館ができるまで」	文 書 館	1 F 企画展示室
10月27日～11月25日	特別展「ベストセラー展」	図 書 館	2 F 企画展示室
11月3日・4日	上映会「映像で見る懐かしの寒川」	合 同	3 F 学習室
11月3日	講演会「絵本と紙芝居」 講師 長野ヒデ子氏	図 書 館	3 F 学習室
11月4日	講演会「武田信玄と筋兜鉢」 講師 八幡義信氏	文 書 館	3 F 学習室
11月10日	企画展説明会「昭和40年のまち探検」	文 書 館	4 F 展示コーナー
11月17日	冬じたくのおはなし会	図 書 館	1 F おはなしのへや

10月27日(土)～11月25日(日)

特別展「図書館・文書館ができるまで」



総合図書館一階の企画展示室を二つに仕切り、図書館と文書館がそれぞれ特別展を開催しました。文書館では、明治時代以降寒川で進められてきた図書館活動と資料保存のあゆみについて、写真等のパネルで展示しました。

寒川の図書館は明治42年(1909)の図書縦覧所にはじまります。また、寒川で初めての修史事業は、明治44年刊の『寒川神社志』です。いずれも100年近く前の先人の努力が、今日の図書館・文書館につながっているのです。

11月3日(土)・4日(日)

上映会「映像で見る懐かしの寒川」

「砂利物語」「相模川－アユの遡る川－」「相模線をたずねて」など、寒川に関係する短編の映像記録6本を上映しました。

両日とも、小学生からご年配の方まで幅広い年代の方々が来場し、昭和20年代から近年に至る寒川の風景に見入っていました。



～図書館主催の事業～

10月27日(土)～11月25日(日)
特別展「ベストセラー展」



11月3日(土)
講演会「絵本と紙芝居」



＜第3回企画展＞

「昭和40年のまち探検 ―地図と写真でたどる寒川のすがた―」

昭和40年当時の町の情報が満載された資料「寒川町家屋名入地図」を中心に、町民の方々や町の職員などが撮影した当時の風景写真、町民の方が収集されたマッチの箱絵などから、人口が急増し道路や公共施設等の建設が進んだ昭和40年前後の寒川町のすがたにせまりました。準備にあたっては、現況の写真撮影、パネル作成などに15名のボランティアの皆さんにご協力いただきました。

1

はじめに

～時代背景と資料の紹介

昭和35～45年の寒川町および世間一般の出来事を年表にし、あわせて町内のできごとに関する写真を展示しました。



町内最初の信号機（昭和43年）



宮山駅（昭和38年）

2

地区のすがた

町内の10の大字ごとに、「寒川町家屋名入地図」、当時の風景写真50枚とその現況、およびマッチの箱絵を並べて紹介しました。

関

覧コーナー

パネル展示に使用した資料の写し等をテーブルに置き、手にとって閲覧してもらえようにしました。

- ・「寒川町家屋名入地図」
- ・「三枝惣治氏マッチラベルコレクション」のうち、寒川の店舗
- ・広報さむかわ連載記事「すいっちばっく」



寒川町家屋名入地図

展

示ケース

「寒川町家屋名入地図」と「三枝惣治氏マッチラベルコレクション」の原資料を展示しました。



三枝惣治氏マッチラベルコレクション

【展示期間】平成19年9月2日(日)～平成20年2月29日(金) ※すでに終了しています

文書館 最近のできごと

■あやせ歴史探訪 10月20日(土)



綾瀬市教育委員会主催の講座「あやせ歴史探訪」の受講者28名が文書館を訪れました。この講座は、古代から現代まで先人の足跡を、教室ではなく現場を見学しながら学ぼうというものです。全6回のうち5番目の見学先として寒川文書館を選んだのは、歴史資料としての公文書の大切さ、公文書館の果たす役割などについて学ぶためでした。文書館の設立の経緯や日頃の活動などを説明し、収蔵庫内を実際に見ていただくことで、資料保存の大切さを認識していただきました。

■中世史講座 11月26日(土)～2月23日(土) 全4回



中世史講座「梶原景時の史料を読む」を、11月から2月にかけての第4土曜日、計4回にわたって開催しました。一宮に館を構えた梶原景時が、鎌倉幕府の公的記録である「吾妻鏡」にどのように描かれているかを、史料に則して学ぼうという講座で、文書館スタッフが講師を務めました。当初の予定人数を上回る応募があって急遽定員を増やしたり、講座の席でも活発な質問が飛び出したりと、寒川ゆかりの人物である景時に対する町民の関心の高さが窺われました。

■寒川中学校 総合学習 1月16日(水)・30日(水)



寒川中学校1年生20名が文書館へ調べ学習にきました。寒川に関して知りたい課題を設定して、資料にあたって調べて発表するという「総合的学習の時間」の一環です。遺跡のこと、寒川神社のこと、梶原景時のこと、戦国時代のこと、寒川町の成立など、まず3、4名の班ごとに調べたいテーマを挙げてもらいました。それに対し、寒川町史の刊行物などの資料をみれば答えが導き出せるかのヒントのみを教えるという方法に、生徒たちはとまどいながらも積極的にノートをとっていました。

■南小学校 施設見学 2月20日(水)



南小学校3年生3クラス98名が施設見学にやってきました。図書館の利用方法やマナーについて学ぶことが主な目的でしたが、文書館にも来てもらい、館の概要について説明しました。その際、開校直前で校庭が未整備の状態の南小学校の写真掲げ、現在との違いを答えさせるなど、児童とのやりとりをすすめるなかで、昔の資料をたくさん持っているので、調べ学習にぜひ利用してほしいとアピールすることができました。

今後の事業予定

■開催中の展示のお知らせ

第4回企画展示

「100年前の発掘調査

ー記録資料にみる大神塚古墳ー」

岡田にある前方後円墳・大(応)神塚は、明治41年に発掘調査が行われました。寒川で行われた初めての学術的調査で、さまざまな遺物が出土しています。それからちょうど100年が経ったのを記念し、当時の記録や写真などを多数紹介します。

会期 平成20年3月2日(日)～8月31日(日)

■平成20年度の講座・講演会

平成20年度も次の講座等を実施する予定です。日時、会場、申し込み方法など、詳しいことは「広報さむかわ」、文書館のホームページ、チラシなどをご覧ください。

- ・古文書講座(全6回、5月～10月)
- ・中世史講座(全4回、11月～2月)
- ・町史講座(1回、時期未定)
- ・資料保存活用講演会(1回、時期未定)

編集後記

寒川文書館だより第3号をお届けします。

文書館は平成18年11月に開館して以来、1年半近くたちました。昨年11月には開館1周年記念イベントも開催することができました。おかげさまで多くの方にご来館いただき、資料の閲覧、講座や講演会の参加、ボランティアの参加、展示の見学など、さまざまなご利用をいただいています。当館のスローガンである「みんなが足を運びたくなる文書館」の実現をめざし、さらなる努力を続けてまいります。

ホームページもごらんください

ホームページでは文書館からのお知らせ、出版物のご案内のほか、さまざまなコンテンツをご提供しています。ぜひいちどアクセスしてみてください。

ホームページアドレスは下記のとおりです。

<http://www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp>

利用案内

■開館時間

火曜～金曜日 午前9時～午後7時
土・日・祝日 午前9時～午後5時

■休館日

月曜日(国民の祝日にあたる場合は開館)
年末年始(12月29日～1月3日)
特別整理日(決まり次第お知らせします)

■交通のご案内

JR相模線 寒川駅下車 徒歩10分
寒川町コミュニティバス 図書館文書館前下車 徒歩1分
※なるべく公共交通機関か自転車、徒歩でお越しください。



寒川文書館だより 第3号

平成20年3月31日

編集・発行／寒川文書館

〒253-0106 神奈川県高座郡寒川町宮山135-1

TEL 0467-75-3691 FAX 0467-75-3758

ホームページ <http://www.lib-arc.samukawa.kanagawa.jp>

電子メール bunshokan@town.samukawa.kanagawa.jp